事例No.	994
公表年度	R1
団体の属性	複数団体
団体名	鳥取県内市町村

事例区分	行政改革

タグ	・教育・子育て ・事務の共同実施 ・ICT

事例種類	情報システムの共同調達・共同運用

事例内容・タイトル

県内全市町村参加による統合型校務支援システムの共同調達・共同運用

出典

地方公共団体における行政改革の取組（令和2年3月27日公表）

★情報システムの共同調達・共同運用①〈鳥取県内市町村〉

○　**標準化された統合型校務支援システムを全市町村立小中学校へ一斉に導入**することで、**大幅なコストダウンを実現**。

○　**自治体の枠を超えて校務を標準化**することで、学校現場における業務の標準化を推進し、**児童・生徒への指導の充実**及び**教職員の多忙解消**を図る。

〈県内全市町村参加による統合型校務支援システムの共同調達・共同運用〉

課　題

○　システム導入に伴う構築経費、運用経費が高額で**財政的負担が大**。

○　**各学校で取り扱う帳票がバラバラ**で、教職員の異動時には**修練のためのムダな時間が毎回発生**。

取　組

○　全市町村立小中学校への**標準化された同一システム一斉導入**
⇒ **業務の標準化の推進**（「教職員がどこに異動しても基本の学校業務は同じ」を実現）
⇒ 学校の枠を超えた**シームレスな情報連携**の実現。

○　**帳票の県下統一化**の推進
⇒ 通知表を除く各種帳票（226帳票）の県下統一化を実現。（**業務の標準化とコスト削減に寄与**）

○　**公簿の電子化の推進**
⇒ システム内で電磁的に記録したものを“公簿”として位置づけ。
（出席簿、指導要録、学校日誌、児童生徒健康診断表、保健日誌）

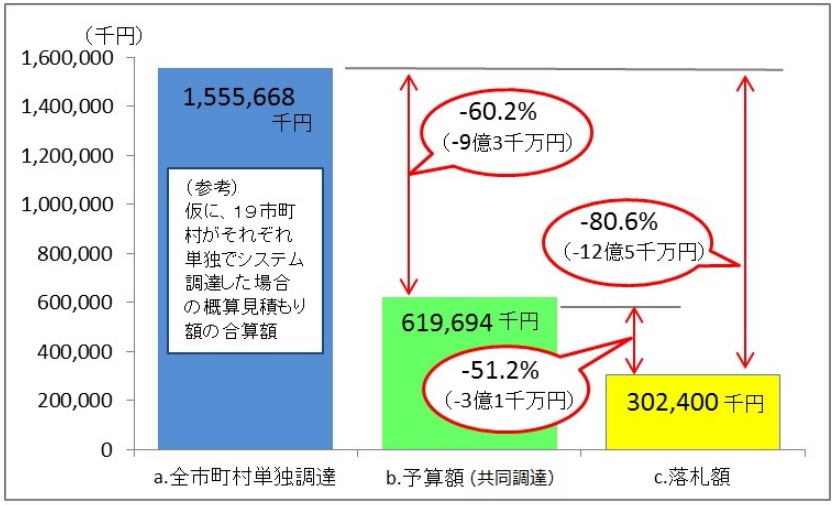
成　果

○　子どもたちの様々な変化を校内の立場の違う複数の教職員で共有

○　システム化（自動化）による**机上業務の効率化**、**人事異動時のスムーズな業務遂行**の実現

○　児童生徒の中学進学時や転校時における学校間の**シームレスな情報連携**

○　**システム調達コスト及び運用コストの大幅削減**（最大12億5千万円（△80.6%）の削減）



※平成29年度構築コストと平成30年度から34年度までの5年間の保守運用コストの合算額